

6/23 ▶ 29 男女共同参画週間

自然が好き！トマトが好き！  
その先にあった自分の道

北島 美有子さん



**短**野のビニールハウスで大玉トマトを栽培しています。自分でやってみたいという思いが強かったこともあり、4年前に農家として独立しました。後先考えずに「やってみたいからやる！」という感じでしたね。今、好きなことを仕事にできているので、大切に続けていきたいです。

Profile

自然や生き物が好きで、大学ではバイオサイエンスを専攻。学生時代のトマト農園でのアルバイトがきっかけとなり就農

仕事もプライベートも「自分らしく」輝く！

市男女共同参画センター発行の情報紙「男女共同参画つうしん」をご存じでしょうか。仕事もプライベートも、自分らしく輝いている女性取材した「なばりのきらきらウーマン」を連載。情報紙の読者アンケートでも人気があります。今号では、令和2年度に登場いただいた5人の記事を要約してご紹介します。

固人権・男女共同参画推進室 63・7559

「わが子を守りたい」  
防災・救命への情熱

奥田 春菜さん



**い**ざという時、子どもを守れるのは自分だけだと感じ、救命のことを学ぼうと消防団に入団。防災士や救命講習の指導員の資格も取得しました。いまでは、職場でも防災教室を開催しています。自分の家族が暮らす地域で、何か役目を担うことは、私にとって重要なことの一つですね。

Profile

職場では料理教室や環境教室、防災教室などを企画・実施。応急手当指導員・防災士などの資格を持つ。2児の母

様々な製造業の原点である  
工作機器に魅せられて

佐藤 逸美さん



**小**さいころからドラえもんみたいな機械が作りたくて(笑)。大学では機械工学を専攻しました。工作機械は「製造業の源流」。医療や航空業界にも関われるし、時計など小さなものも生み出せる。機械の設計で製造業の原点を支え、社会にとって必要とされていることに、魅力を感じています。

Profile

埼玉県出身。就職を機に伊賀へ(現在名張市在住)。標準仕様では対応できないオーダーメイドの設計を担当。3児の母

「縁の下の力持ち」な  
土木業に惹かれて

福山 由佳さん



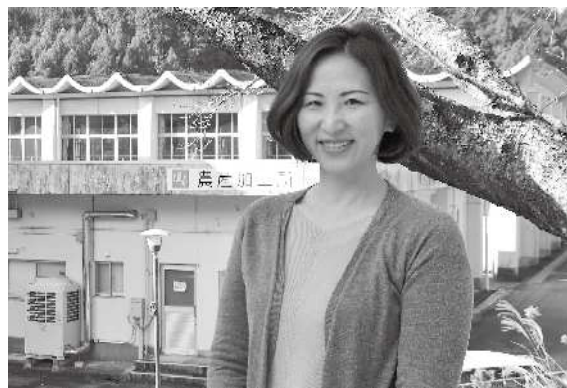
**土**木は、土地開発のとっかかり。土木工事が終わる、基礎ができて、やっと家や公共施設が建てられる。誰も見てないところで、一生懸命汗を流しているところが、縁の下の力持ちというか…。健気で「きゅん」と、ときめいちゃいます(笑)「地図に残る仕事」でもあり、やりがいがありますね。

Profile

接客業、建築会社での営業・工程管理を経て土木の道へ。施工管理や建設機械の資格取得を目指し勉強中。1児の母

加工・販売で農業を支え  
食卓に笑顔届けたい

杉岡 雪子さん



**農**産品を変身させた加工品が、地域の宣伝や、ゆくゆくは農業活性など、生産者の力や収益につながればいいな、という思いでやっています。時間と労力とアイデアをかけた商品を、ちゃんと対価で販売できるように、世の中の食品に対する価値観を変えていければ、うれしいですね。

Profile

2017年に旧滝之原小(給食室)に食品の加工所を立ち上げ、主に地元農産品の加工製造・販売を手掛ける。3児の母

ご紹介した皆さんは、男女の役割分担に縛られず、仕事、家庭、地域活動など「自分らしく」生きることで、豊かな生活につながっています。このように、男女それぞれが性別にかかわらず、個性や能力を生かして、様々な分野で活躍できる社会を、「男女共同参画社会」といいます。

続きは市HP & 冊子・情報紙で…



今号に掲載の5人の女性たちの想いを、もっと詳しくまとめた冊子を市民センターなどに設置しています。彼女たち一人ひとりの「らしさ」が伝わってくる一冊です。



「つうしん」は、偶数月の発行。市民センターなどにも置いています。男女共同参画に関するニュースやイベントのほか、「なばりのきらきらウーマン」の連載も続けています。

